

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和107年09月12日

計画の名称	芦屋市における良好な水環境の形成（２）																				
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　（５年間）										重点配分対象の該当										
交付対象	芦屋市																				
計画の目標	芦屋市において、循環型社会の形成を目指し、良好な水環境の創造を推進する。																				
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		990		A	990		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	芦屋下水処理場の高度処理化実施率を0%（R2）から100%（R6）に向上させる。			
	高度処理実施率	0%	0%	100%
	高度処理実施池数（池）／高度処理必要池数（池）（6池）			
2	南芦屋浜処理区の整備に適応し、南芦屋浜下水処理場の処理能力を3,850m3/日（R2）から5,775m3/日（R6）へ上げるために必要な、機械電気設備の増設を行う。			
	南芦屋浜下水処理場における処理能力	3850m3/日	3850m3/日	5775m3/日
	R6末時点の予測流入水量に対応した増設後の処理能力（m3/日）（5,775m3/日）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	終末処 理場	－	芦屋下水処理場整備（高 度処理化）	機械電気設備増設設計，施工	芦屋市					■	235		－	
	A07-002	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	終末処 理場	－	南芦屋浜下水処理場整備 （増設）	機械電気設備増設設計，施工	芦屋市					■	■	755		－
											小計							990		
											合計							990		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
芦屋市下水道事業関連部局において、目標の達成状況やその要因を確認し事後評価を実施。	令和7年度
	公表の方法 芦屋市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・芦屋下水処理場の高度処理方式の検討を行い、効率的に高度処理を行うための検証を行った。 ・南芦屋浜下水処理区の人口増加に伴い、施設の機能増設を予定していたが、現有処理能力で対応可能であるため機能増設を見送った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・高度処理の検証実験を継続して行い、施設の高度処理化を進めていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	高度処理実施率（％）		
	最 終 目標値	100%	高額な工事費を要する高度処理化の実施ではなく、費用を抑えた段階的処理方式を検討し、検証実験に時間を要することとなったため。
	最 終 実績値	0%	
2	南芦屋浜下水処理場における処理能力（m3／日）		
	最 終 目標値	5775m3/日	南芦屋浜処理区処理水増加量が既存処理能力で対応できる範囲であり、施設の機能増設が不要となったため。
	最 終 実績値	3850m3/日	

(参考様式3) (参考図面) 水の安全・安心基盤整備

